



- 被災地での経験を活かした僻地医療の支援と、家庭医の育成。
- 在宅医療、介護、地域包括ケアの充実。
- 行政の意思決定の見える化、透明化。
- 高校再編計画の凍結、再検討、奈良高校現地建て替え！。
- 保育所、学童保育の充実、「働き盛り子育て盛り」、子どもの居場所づくり。
- 南海トラフ等の災害に備え、自衛隊駐屯地の誘致。
- 消防と医療の連携。
- 学校図書館司書の配置、県産農作物で作った給食の提供。

川島 実 プロフィール

3歳で奈良市に転入、奈良市立右京幼稚園、右京小学校、東大寺学園中学校卒。  
1993年3月 東大寺学園高等学校卒。  
1999年3月 京都大学医学部卒。  
卒業直前に、部活で始めたボクシングでプロ入り、話題になる。  
2003年10月 29歳でボクシングを引退。  
自給自足を旨とした和歌山の山奥で、へき地医療と出会う。  
徳洲会グループで初期研修、後期研修。専攻は家庭医療。  
2011年10月 東日本大震災を機に、医療ボランティアを経て  
富城県気仙沼市本吉病院院長。  
地域の復興を生活の底辺から支える。  
父の死を機に家族として向き合うために帰郷。  
2014年 現在、フリーランスの医師として主に東北と関西で在宅診療、  
夜間の救急当直などに携わりながら、地元のPTA、  
自治会などのボランティア活動をする。  
妻と1男3女の6人住まい。

県民との対話を通じて、信頼のある政治を作ります。  
県民に政治を取り戻すため、県職員の皆さんと力を合わせ、現場の声が政策に反映される仕組みづくりが必要です。動け、奈良県！

対話のある政治

奈良県の病巣  
みなさん、奈良県はこれまでいいのでしょうか。全国的な少子高齢化の波は奈良県にも押し寄せ、今後30年間に子供の数が40%減ると予想されています。そんな中、県立高校では倒壊の恐れのある校舎が使われています。生活道路の整備は進まず、奈良県南部の命綱である国道169号線は、未だに寸断されたままです。  
一方で、100億近い予算をかけた芸術家村が建設され、定員割れが続くNAFIC(食と農の魅力国際大学)には新たにセミナーハウスが建設されようとしています。近鉄奈良線の大宮通り付け替えなどの大規模開発も計画されています。どれくらいの税金が使われるのでしょうか。県民に向き合えない、命を、生活を軽視した政治と言わざるを得ません。

奈良県を治そう。

はじめてまして  
奈良県知事候補の川島実です。東大寺学園出身です。京都大学医学部在学中に、ボクシングの世界チャンピオンに憧れて、プロ入りしました。打ち合うスタイルで、西日本新人王にもなりましたが、試合で左目を痛めて、引退しました。今でも、後遺症の外眼筋マヒの影響で、体が少し傾くことを、ご容赦ください。  
引退後は、主に山間部で、自分が食べる米を自分で作りながら、地域医療を勉強してきました。東日本大震災の時には、被災地にボランティアとして駆けつけ、津波で医師不在となった病院の院長を引き受けて、町の復興に尽力してきました。ふるさと奈良の大きなお寺で得度し、在家の僧侶でもあります。

はじめてまして

医師 無所属

44才



奈良県知事候補者  
川島 実

新元号 元年 新しい時代に、新しい奈良県を。

豊富な政治経験 + しがらみゼロ = だからできる

県民が支払った税金は県民の暮らしのために使われる、そんな当たり前前の県政を実現するため、その第一歩として1期務めただけで3550万円も支給される知事退職金を廃止します。

健康・長寿日本一

- 医師不足が生じない安心の医療体制を構築
- 医療従事者の県外流出を加速する「地域別診療報酬」を導入しない
- 低所得者・低年金者の国民健康保険料の軽減を推進
- 住み慣れた我が家ですと暮らせるように医療・介護・福祉の連携(地域包括ケアシステム)を構築



少子高齢化と人口減少に立ち向かう

- 高齢者の方々の「足」となる公共交通を維持しながら、移動スーパーの導入・普及を支援
- 起業を応援するための立地補助金を拡充し、「保証人・担保なしでの融資制度」を創設
- 空き家購入や賃借の支援、中古住宅を利活用を推進



暮らしを豊かにする雇用・経済

- 県の特産品や農産物の輸出と、インターネットを通じた販売を支援
- 食と滞在型リゾートの魅力を高めるためエコツーリズムを展開

税金は県民の命と未来を守るために

- 県立医大附属病院や西和医療センター、県立高校などの耐震工事に大至急取り組む
- 不要不急の「ハコモノ」には税金を使わない
- 1期4年で3550万円、3期で1億円を超える知事退職金を廃止
- 京奈和自動車道の早期全面開通とリニア新幹線の奈良県内駅の実現に全力で取り組む

子育て・教育環境日本一

- 妊産婦・乳児の健康診断の本人負担は0円とし、不妊治療の費用を助成
- 県立高校でも私立高校に負けない教育を実施
- 県の子どもの個性や才能を伸ばすために、学校外教育にかかる費用を補助・支援
- 県立高校再編はもう一度ゼロから議論
- 県独自の給付型奨学金(返さなくてもいい奨学金)を創設



まえ かわ きよしげ  
前川清成 新人・弁護士  
前参議院議員 元内閣府副大臣  
元復興副大臣

プロフィール

1962年 橿原市生まれ。関西大学卒業後、24歳で司法試験に合格し弁護士として活動。2004年参議院議員に初当選し、公約として掲げたサラ金金利の引き下げや国会議員年金の廃止を実現。2010年参議院選挙に再選し、参議院経済産業委員長や内閣府副大臣を歴任。東日本大震災後は、被災者へ支給される支援金、義援金への差し押さえを禁止する議員立法を成立させ、復興副大臣として「二重ローン」対策に取り組んだ。2019年、停滞する奈良県政を変えるために、奈良県知事選挙に立候補。

LINE@  
前川きよしげ



無所属  
前川 清成  
56歳

もっと一人ひとりがイキイキと輝ける、もっと良い奈良をつくります。



健康長寿日本一へ

- 奈良県の健康寿命が延びてきました。がん死亡率が大幅に下落しました。
- 奈良県は、がん死亡率全国一低い県、健康寿命日本一を目指します。

奈良の女性をさらにイキイキと

- 女性がイキイキと働き暮らし続け、子どもがすくすく育つ奈良になるよう、女性の活躍と子育ての環境を整備し、奈良の女性のワーク・ライフ・バランスを実現します。

安心な医療を皆様のそばに

- 県総合医療センターの移転開院、ドクターヘリの活躍などで医療が飛躍的に良くなっています。
- 断らない医療、高度ながん治療、産科医療が良くなりました。
- 医療の見える化を進め、地域包括ケア、在宅医療、看取りが充実した県にします。

あらゆる人が働きやすい奈良県

- 就業地別有効求人倍率は、過去最高。工場誘致件数は大きく伸び、全国と近畿でトップクラスを維持し続けています。
- 奈良県版働き方改革の実践で、奈良県経済活性化を継続し、上向きの経済をさらに力強くします。

すべての困っている人を助ける

- 障害者雇用率は、2年連続全国一位です。
- 障害者、生活困窮者、家庭で困難に遭う子ども、出所者などを県・市町村等がスクラムを組んで奈良モデル方式で支援します。

あらゆる世代が生涯学び続ける

- 就学前教育、実学教育を充実し、教員の働く環境を改善します。
- 幼児期から学べる、働くために学べる、シニアになっても学べる、あらゆる世代が生涯学び続けられる奈良県を創ります。

奈良の未来を発展させる重要なプロジェクトの推進

「リニア中央新幹線「奈良市附近」駅の早期確定」、「大規模広域防災拠点の整備」、「京奈和自動車道の早期全線開通」、「JR関西本線「新奈良駅」の整備」などを実現

「奈良は、良くなってきたね」  
県内外の多くの人々からそう言われるようになってきました。県職員の奮励努力、県民の皆様のご理解ご協力のおかげと心から感謝しています。

「奈良には、まだまだ発展する力があります」  
これまで着実に積み上げてきた成果を土台に、奈良県をもっと良くすることは可能です。これまでの努力の結果が、道半ばで後退したり、逆方向に向かうことのないようにしなければなりません。

「もっと良くなる奈良を目指して」  
私は、人の助けを頂く運には恵まれてきました。これまで頂いた県内外の人々の力と県民の皆様のもっと素晴らしい奈良を実現する努力を愚直に誠実にさせていただければ幸いです。

県政発展が後退、逆戻りしてはなりません。さらに前進させる必要があります。

あらい正吾 プロフィール  
昭和20年1月18日生、大和郡山市出身。東京大学法学部卒。米国シラキュース大学マックスウェル行政大学院卒。運輸省観光部長、自動車局長。参議院議員1期。H19年から奈良県知事。現在3期目。



奈良県知事候補者  
あらい 正吾  
元参議院文教科学委員長  
元外務政務官 元海上保安庁長官

# 奈良県知事選挙

投票日

4月7日(日曜日)

投票時間は、午前7時から午後8時までです。

(※一部地域を除く)

○ 期日前投票・不在者投票は

4月6日(土)まで

(原則：午前8時30分～午後8時)

※詳しくは市町村選挙管理委員会にお問い合わせください

○ 身体障害者手帳などをお持ちの方で身体的障害により投票所へ行けない方は、障害の程度により郵便等による不在者投票ができる場合があります。(事前の申請が必要です)

○ 自ら文字を書くことができない方は、代理人による記載ができる場合があります。

※詳しくは市町村選挙管理委員会にご相談ください

○ 選挙権年齢が18歳以上となりました。将来を担う若い世代の声をこれまで以上に政治に取り入れるために引き下げられました。

○ ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック等を使って選挙運動を行う際は、下記にご留意下さい。

・ 新たな掲載は、投票日の前日までです。

・ ホームページ等には、電子メールアドレスなどの表示が必要です。

・ 一般有権者は、電子メールを利用した選挙運動はできません。

・ 詳しくは、総務省ホームページをご覧ください。

ネット選挙運動 総務省



その一票 明るい奈良への 道しるべ

奈良県選挙管理委員会